

次のページも「議員が聞いた、みんなのお金」をぜひ活用してください。

議員はここに注目!

みんなのお金、どう使う? どう活かす?

議員が聞いた「24年度予算と町の考え」

予算書をはじめ、町から示された資料等をもとに議員全員で精査した予算審議は、3月8日・9日の2日間にわたって行われました。本会議で出された質疑の中から、抜粋してご紹介します。



(歳入) 主要税目の見込み

大久保幸夫 個人住民税の増収と固定資産税の大幅な減収、それぞれの要因を伺います。

答弁 個人住民税は、納税義務者数や所得額の減少が見込まれるものの、年少扶養控除や特定扶養控除の上乗せ部分の廃止による増収が見込まれるため、前年度に対し、1400万円の増収を見込み、計上しました。また、固定資産税については、3年に1度の評価替えに伴い、在来分家屋の評価額が過去最大の落ち幅となったため、前年度に対し1億5300万円の減収を見込み、計上しました。

(歳入) 臨時財政対策債

真下昇 社会資本整備以外にも使える臨時財政対策債は5億6500万円の発行が予定され、24年度末には48億7367万円の発行残高となる見込みです。財政規律の観点から問題があると思われませんが、見解を伺います。

答弁 臨時財政対策債の償還に要する費用は、後年度の地方交付税算定に全額算入されるので、財政規律上の問題はないと思われま

(総務費) デマンド交通

佐藤理美 地域公共交通活性化協議会への負担金。また、デマンド交通の

(総務費) おもてなし研究グループ

おもてなし研究グループ について伺います。

答弁 業務改善の一環として、入庁5年以下の各課職員18名で昨年より研究を始まりました。来庁される方に対し、窓口業務をはじめ、若い視点でおもてなしの対応について議論しています。ここでの研究が実践され、組織全体のおもてなしに対する意識改革につながり、町民の皆さんに喜んでいただけるよう努めます。

(民生費) 寄居学童はやぶさクラブ

耐震構造などに不安のあった施設



学童保育所が移転される寄居小学校

(民生費) シルバー人材センター

原口昇 シルバー人材センターの現在の登録者数、年間売上額について伺います。また、失職した40代・50代の受け入れについてはどうか伺います。

答弁 平成22年度末で、384人の登録者がいます。22年度の年間売上額は約2億7500万円です。40代・50代をシルバー人材センターに位置づけることは難し

実現に向け、国の補助金等の活用について伺います。

答弁 町から地域公共交通活性化協議会への負担金(2482万6000円)を交付。国の補助金を活用するとともに、11月を目途にデマンド交通のテスト運行を行います。そのため計画策定業務、人件費や車両などにかかる所要額を予算計上しました。本格的な運行は25年度当初と考えています。

(総務費) 防犯灯の設置

岡本安明 防犯灯の設置要望状況と設置予定基数について伺います。

答弁 防犯灯の設置基準を満たす場合、各区からの設置要望については、そのほとんどにおこたえしています。24年度の予定は、移設や交換工事の要望件数にもよりますが、新設30基程度を予定しています。

(総務費) 公共施設照明等のLED化

稲山良文 公共施設のLED化、太陽光発電システムの普及と新設する防犯灯のLED化について伺います。

答弁 初期の導入費用が高額となるため、効果的な導入方法等について引き続き研究したいと思っています。新設する防犯灯の設置は30基予定していますが、LED化は考えていません。